

【農林水産物・食品の広報】

日本食材PRイベント(スイス)

開催日： 令和4年10月下旬～11月上旬

場 所： 在スイス日本大使館及び当地日本食材サポーター店(レストラン)

主催(共催)：在スイス大使館、JETROジュネーブ事務所

協力/参加企業・自治体： 日本食材サポーター店13店、輸出業者(ソース類：オタフクソース、和牛・和菓子：銀閣寺大西)、兵庫県パリ事務所

在スイス大使館

【概要】

令和3年度農水省補正予算「現地小売・飲食店や輸入商社等と連携した日本産食材等の販路拡大支援事業(事業実施主体：JETRO)」を活用し、JETROが認定する日本食材サポーター店及びJETROジュネーブ事務所と連携し、和牛等の日本食材のPRを実施。

- 10月下旬にベルンで開催された文化紹介フェスティバルに参加する形で、当館を参加会場として利用し、一般客に日本食(和牛、日本酒、ゆず酒、ソース、和菓子等)の試食・試飲を提供した。また、同時に、ポテンシャルバイヤーを招待し、これら製品に対する一般客の実際の反応を見せながら商談を進めた。
- この結果、複数事業者との商談が進み、特に、商談を行った事業者の約8割が和牛の取扱を希望。現在、複数の事業者が和牛の輸入計画を進めているほか、事業者からは和牛を使った焼肉店を開店したいとの声が寄せられた。
- 10月下旬～11月上旬、日本食材サポーター店(レストラン)において、和牛、日本酒、ゆず酒、和菓子等を使った特別メニューを提供し、顧客に対するアンケート調査を実施した。この結果、和牛の圧倒的な人気が明らかになり、また、当地における認知度が低いゆず酒、和菓子(わらび餅)等の潜在的ニーズがあることが明らかになった。
- このイベントを機に、当地における日本食材サポーター店レストラン数が10店舗→19店舗にほぼ倍増した。また、既存の日本食材サポーター店との連携を図ることでこれら事業者との信頼関係を構築することができた。
- イベントのために当地に一部商品を日本から初輸入したことで、実際の通関上の課題、必要書類、所要期間等を把握することができた。

